

# 羽島市ゼロカーボンシティ宣言

～2050（令和 32）年までに二酸化炭素排出量実質ゼロへ～

地球温暖化は、人類の生活基盤に関わる重大な環境問題の一つであり、その原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスの排出抑制は、世界共通の課題となっています。身近に私たちの生命や暮らしが脅かされる事態がせまるなど危機的状況にあり、その対策は不可欠なものとなっています。

2015（平成 27）年 12 月に合意されたパリ協定では、「産業革命からの平均気温上昇の幅を 2°C 未満とし、1.5°C に抑えるよう努力する」との目標が国際的に広く共有されました。その後 2018（平成 30）年に公表された IPCC（気候変動に関する政府間パネル）の特別報告書では、「気温上昇を 2°C よりリスクの低い 1.5°C に抑えるためには、2050（令和 32）年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする必要がある」と示されています。

羽島市はこれらの状況を鑑み、市が有する緑豊かで優れた自然環境などを次世代へ引き継ぎ、持続可能なまちづくりを実現するために、市民・事業者等との協働により地球温暖化対策を進め、2050（令和 32）年までに二酸化炭素排出量実質ゼロを目指すことをここに宣言します。

令和 3 年 3 月 12 日

羽島市長 松井 聡